

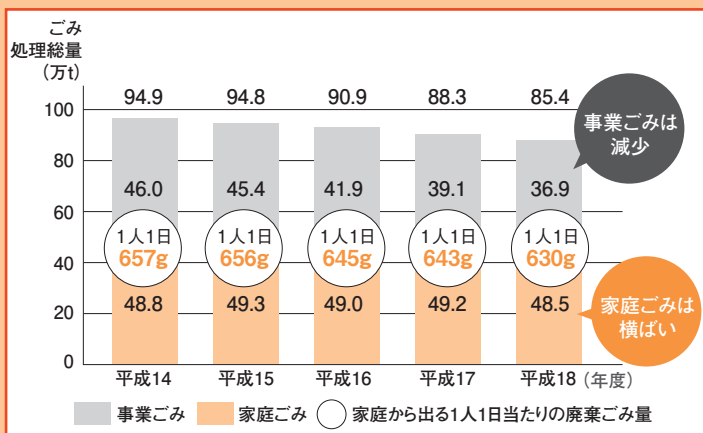
# 今

# そこにある「ごみ問題」

毎日の暮らしの中で必ず出る「ごみ」。ごみを処理するためには、多くの費用が必要で、環境への負担も伴います。

また日常生活で、ごみ出しに関わるトラブルは後を絶ちません。

今月は身近なごみ問題について一緒に考えていきましょう。



## 現状

なぜ今「ごみ減量」なの？

ごみ減量は待ったなし

■家庭ごみの量は横ばい傾向

市の平成十八年度のごみ処理量は約八十五万トで前年度より三万ト少なくなっていますが、このうち家庭ごみは約四十九万トで横ばいの状態が続いています（左図参照）。また、ごみの収集処理には多くのエネルギーを必要とするため、少なからず環境へ負担を掛けています。

■埋め立て処理はあと十七年で限界

今のごみ処理量が毎年続くと、現在二つある埋め立て地は、あと十七年で満杯になってしまいます。

■ごみ処理費用は年間約二百七十六億円

二百七十六億円を市民一人当たりの額にすると、年間約一万五千円もの費用が掛かっています。

この現状を改善し、家庭ごみの量を減らすことで環境への負担やごみ処理費用を減らし、埋め立て地を長く使えるようにするため、より一層のごみ減量を進める必要があります。

皆さん一人一人が今までの生活で出していた「ごみ」について、買い物で無駄なものがないか、ごみ出しルールを守っていたかなど、自分の行動を見直して、今からできることを実行していくことが大切です。

## 心得

## 4つの「R」でごみダイエット！

### R e f u s e (リフューズ)

ごみになるものは 断る・買わない・持ち込まない。



- ・過剰な包装を断る。
- ・使い捨てではなく再利用できる商品を選ぶ。
- ・マイバッグ持参で買い物する。

### R e d u c e (リデュース)

無駄をなくして ごみを出さない・作らない。



- ・料理は作り過ぎず食べ残さない。
- ・日用品や食材は無駄なく使い切る。
- ・物を大切に長持ちするように使う。

### R e u s e (リユース)

繰り返し使う。 捨てる前にもう一度考える。



- ・壊れたものは直して使う。
- ・欲しい人に譲る（フリーマーケットなどを利用）。
- ・リフォームなどして使う。

### R e c y c l e (リサイクル)

再生資源に戻す。でも… 資源になるごみも減量しよう。



- ・ごみを正しく分別する。
  - ・集団資源回収や店頭回収に出す。
  - ・リサイクル製品を利用する。
- ※リサイクルには再生処理のためのエネルギーや費用が必要です。資源となるごみも減量しましょう。